平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名　株式会社 アスラポート・ダイニング　　上場取引所　大
コード番号　3069　URL　http://www.asrapport-dining.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 檜垣　周作
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 齊藤　隆光　TEL 03-6459-3235

四半期報告書提出予定日　平成24年2月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,472	△2.6	203	△11.7	203	△6.8	159	16.9
23年3月期第3四半期	5,618	△32.4	230	77.8	218	282.7	136	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　159百万円　(16.6%)　23年3月期第3四半期　136百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	937.15	934.18
23年3月期第3四半期	826.83	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,997	877	28.0
23年3月期	2,608	691	25.8

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　840百万円　23年3月期　673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,116	△3.2	277	△15.0	260	△14.8	150	4.5	882.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	170,500 株	23年3月期	170,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	24 株	23年3月期	24 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	170,152 株	23年3月期3Q	164,994 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みからサプライチェーンの回復とともに、企業の生産活動や個人消費には若干回復の動きが見られました。しかし一方で欧州の債務問題に端を発する世界経済の減速懸念や長期化する円高などを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、震災直後の落ち込みからは回復傾向がみられるものの、依然として根強い消費者の生活防衛意識とデフレ傾向、食中毒事故や放射性物質の影響による食の安心安全に対する懸念等により厳しい状況が続きました。

このような中で、当社グループは「外食フランチャイズチェーンのリーディングカンパニー」を目指すという目標を掲げ、引続き「既存ブランドの強化」「M&Aによる規模拡大」「フランチャイズ運営ノウハウを活かしたフランチャイズ展開支援」「海外市場への進出」「自社開発商品、業務用食材等の外販事業」「効率的なグループ運営」の各課題に取り組んでまいりました。

ブランドごとの当第３四半期連結累計期間の概況及び取り組みは以下のとおりであります。

子会社である株式会社プライム・リンクが展開する「牛角」では、引続き品質管理、安全への取り組みを強化し、お客様一人一人に専用トングを使っていただく取り組みや、肉の保存、切り方、味付けを一新し更なる品質向上を行いました。

「とりでん」では、ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用したキャンペーン「釜飯拡散プロジェクト」を継続しファミリーや若年層のファン獲得に努めるとともに、店舗の立地、客層、曜日などに応じて食べ放題コース、昼の二毛作業態の導入などの施策を実施しました。

「おだいどこ」ではコンセプトの「日本全国うまいもん」の強化をめざしてご当地グルメサイトを立ち上げるとともに、ＳＮＳ等を利用してメニューを募る「ご当地グルメグランプリ」を開催しました。お客様との双方向のコミュニケーションを通じ、ブランドの認知の拡大に取り組みました。

また株式会社プライム・リンクは株式会社松富士食品との業務提携によりラーメン業態「ジャンクガレッジ」のエリア本部として店舗開発、運営を行うこととなり、11月下旬には１号店「ジャンクガレッジ北浦和店」をオープンしております。

同じく子会社である株式会社とり鉄の「とり鉄」では、新メニューを導入、地鶏で築いた生産者とのつながりを発展させ、海鮮、馬刺しなど鶏以外の食材も強化しました。また女性視点も取り入れ、ノンアルコールカクテルや、野菜を美味しく取れるメニューなども増やし、ブランドの価値向上に取り組みました。

こうした結果、既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」89.5%、「とりでん」103.5%、「おだいどこ」97.7%、「とり鉄」99.1%となりました。

以上により、当第３四半期連結累計期間の売上高は5,472百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は203百万円（前年同四半期比11.7%減）、経常利益は203百万円（前年同四半期比6.8%減）、四半期純利益は159百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①店舗運営

株式会社プライム・リンクにおいては、「おだいどこ」１店舗を加盟企業様より譲り受け直営店とし、「ジャンクガレッジ」１店舗をオープンしました。株式会社とり鉄では、「とり鉄」１店舗をオープン、また６店舗を加盟企業様より譲り受け直営店としました。この結果、当第３四半期における当社グループの直営店舗数は44店舗となり、店舗運営の売上高は2,245百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

②フランチャイズ

株式会社プライム・リンクでは「牛角」２店舗、また低価格の焼肉業態「ゴチニク」を１店舗オープンする傍ら「牛角」を３店舗、「とりでん」１店舗を閉店しました。株式会社とり鉄では、「とり鉄」１店舗を閉店しました。この結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループのフランチャイズ店舗数は298店舗となりました。また、東日本大震災における地震及び津波の被害により休業していた４店舗のうち、牛角　多賀城店（宮城県多賀城市）が７月に、牛角　郡山なかまちゆめ通り店（福島県郡山市）が11月に営業を再開しております。

一部ブランドのフランチャイズ店舗向け食材の売上高を加えた結果、フランチャイズの売上高は2,823百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

③その他

転貸における売上及び加盟企業向け販促物の売上等を中心に、売上高は403百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は 2,997 百万円となり、前連結会計年度末に比較し 389 百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は 2,120 百万円となり、前連結会計年度末と比べ 203 百万円増加いたしました。これは主に、買掛金及び借入金の増加によるものであります。

純資産については、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ 185 百万円増加し、877 百万円となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年３月期の連結業績予想につきましては、平成 23 年５月 11 日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	237,046	610,600
売掛金	570,509	637,172
商品	15,014	27,849
貯蔵品	8,841	7,060
その他	229,312	226,026
貸倒引当金	△41,947	△28,475
流動資産合計	1,018,778	1,480,234
固定資産		
有形固定資産	400,157	365,291
無形固定資産		
のれん	288,762	273,752
その他	74,657	61,402
無形固定資産合計	363,419	335,155
投資その他の資産		
敷金及び保証金	717,513	716,489
その他	131,817	132,184
貸倒引当金	△22,926	△31,509
投資その他の資産合計	826,404	817,164
固定資産合計	1,589,981	1,517,611
資産合計	2,608,760	2,997,845
負債の部		
流動負債		
買掛金	348,244	569,790
短期借入金	60,000	145,830
未払法人税等	11,704	15,612
店舗閉鎖損失引当金	－	18,107
資産除去債務	－	8,659
その他	589,063	661,872
流動負債合計	1,009,012	1,419,871
固定負債		
社債	116,000	40,000
長期借入金	47,500	－
受入保証金	507,712	444,012
資産除去債務	78,740	83,340
その他	157,822	133,219
固定負債合計	907,774	700,572
負債合計	1,916,787	2,120,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	612,174	615,723
資本剰余金	570,471	574,020
利益剰余金	△507,222	△347,764
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	673,995	840,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	△419
その他の包括利益累計額合計	△63	△419
新株予約権	18,040	37,270
純資産合計	691,972	877,402
負債純資産合計	2,608,760	2,997,845

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	5,618,268	5,472,795
売上原価	3,009,486	2,948,363
売上総利益	2,608,781	2,524,431
販売費及び一般管理費	2,378,057	2,320,670
営業利益	230,724	203,761
営業外収益		
受取利息	993	699
受取家賃	－	4,657
貸倒引当金戻入額	－	4,888
その他	8,495	6,426
営業外収益合計	9,489	16,672
営業外費用		
支払利息	14,312	11,514
その他	7,441	5,256
営業外費用合計	21,753	16,771
経常利益	218,460	203,661
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,979	－
受取契約違約金	－	8,736
その他	2,425	－
特別利益合計	8,404	8,736
特別損失		
固定資産売却損	4,725	－
減損損失	16,760	10,420
店舗閉鎖損失引当金繰入額	－	18,107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,699	－
その他	5,605	－
特別損失合計	54,791	28,527
税金等調整前四半期純利益	172,072	183,871
法人税、住民税及び事業税	16,668	16,824
法人税等調整額	18,982	7,589
法人税等合計	35,650	24,413
少数株主損益調整前四半期純利益	136,422	159,457
少数株主利益	－	－
四半期純利益	136,422	159,457

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	136,422	159,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△355
その他の包括利益合計	13	△355
四半期包括利益	136,435	159,102
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,435	159,102
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象
当社は、平成24年１月27日開催の取締役会において、株式会社フードスタンドインターナショナルを設立し、株式会社フードスタンドインターナショナルは平成24年１月31日に他社から一部の事業を譲受ける事業譲受契約を締結し、平成24年２月１日に事業を譲受けております。

１．重要な子会社等の設立
(1) 設立の目的
事業受皿会社として新会社を設立するものであります。
(2) 設立する会社の概要
① 商号　株式会社フードスタンドインターナショナル
② 代表者　代表取締役　檜垣　周作
③ 本店所在地　東京都港区高輪二丁目16番29号　丸高高輪ビル２階
④ 設立年月日　平成24年１月27日
⑤ 主な事業内容　「たこばやし事業」及び「うまいもんや事業」の運営
⑥ 資本金の額　500千円
⑦ 株主（出資比率）　株式会社アスラポート・ダイニング（100%）

２．重要な事業の譲受
(1) 事業譲受けの目的
当社グループは、既存ブランドの強化とともにM&Aによる業容及び規模の拡大に取り組んでおり、これまで中心に運営してきた居酒屋業態に加え、昼の需要に対応する業態を取り込み、業態の多様化と規模拡大による収益基盤の強化に取り組むため。
(2) 事業の譲受け先
株式会社フードスタンドインターナショナル
(3) 譲受け事業の内容
「たこばやし事業」及び「うまいもんや事業」の運営
(4) 相手会社の概要
① 商号　CJ Foodville Japan株式会社
② 代表者　代表取締役　西田　孝臣
③ 本店所在地　大阪府大阪市中央区日本橋一丁目17番17号
④ 設立年月日　平成９年11月25日
⑤ 主な事業内容　飲食店の運営、フランチャイズチェーン本部の運営
⑥ 資本金の額　53,600千円
(5) 譲受ける資産・負債の額
① 棚卸資産　667千円
② 固定資産　4,000千円
③ 固定負債　5,500千円
(6) 譲受け価額
45,675千円
(7) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
① 発生したのれんの金額
47,261千円
② 発生原因
今後の事業の発展によって期待される将来の超過収益力であります。
③ 償却方法及び償却期間
５年間の均等償却
(8) 譲受けの時期
平成24年２月１日